



令和8年度がスタートしました！
「教科をベースとした授業実践の推進：村特イチガン」に向けて

□ はじめに

山形県立村山特別支援学校のホームページにお越しいただきましてありがとうございます。
今年度も、県立村山特別支援学校の校長を務めます矢野裕之です。

子どもたちを真ん中においた教育を行うことで、自分で、伸びや成長を実感できるような教育を行っていきたいと思います。

そして、引き続き、保護者や地域のみなさまに信頼される学校づくりをしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

□ 今年度は変革の年

本校においては、児童生徒数の増加による教室不足解消のため、昨年度10月末に、新しい校舎（南棟）が完成しました。新しい校舎は、教室が9つの他、職員室や多目的室などが設置されております。

今年度は、主に高等部生徒が学ぶ教室として、使用しております。職員室も、先日高等部に関わる職員の移動が完了し、本格的に業務が始まりました。

高等部の生徒への指導をはじめ、学部会などの会議も職員室で開催できるようになるなど、高等部が単独で使用できるメリットを最大限生かしていきたいと思っております。

また、山形校、天童校では、教育課程をそれまでの教科等を合わせた指導中心のものから、教科別の学習へと転換しました。このことにより、子どもたちにとっては、今行っている学習が、どの教科のどんな内容の学習を行っているのかが明確になる、教員にとっては、目標と評価の一体化を図ることができ、よりPDCAサイクルが確立されると考えております。これまで培ってきた学習との相乗効果を図り、より確かな学力が付くようにしたいと思います。

□ 学校の様子

4月8日（水）天童校、10日（金）本校、13日（月）山形校のそれぞれにおいて、令和8年度のスタートである第1学期始業式と入学式を行いました。

午前中は在校生がとてもうれしそうに登校したのが印象的でした。本人なりに「こんなことをがんばりたい」、「こんなことができるようになりたい」と新年度に期待して、登校したと思います。

午後に行われた入学式では、小学部、中学部、高等部、本校分校合わせて66名の子どもたちが、緊張している様子もありましたが、うれしさをそれぞれに表現して式に臨んでいました。

今年度入学した子どもたち合わせて、全校生は237名となりました。

これから、一年間で大きく成長できるように、私たちもしっかりと教育活動を展開していきたいと思っております。

今年度も、村山特別支援学校に対してのご理解、ご協力をお願いいたします。

山形県立村山特別支援学校
校長 矢野 裕之



新校舎（南棟）全景